

考察

今回、杉野廣一氏が沖縄島北部において、主により FIT によって採集したアリヅカムシを分類したところ、27 種が発見された。オキナワメダカアリヅカムシやサカイツヤアリヅカムシのように、灯火でよく採集されているものもあったが、*Batrisini*, gen. & sp. のように、稀産の種もあった。その中で特に注目されるものとして、多数のシュモクアリヅカムシ亜族があった。これらを詳しく分類したところ、日本本土に産するシュモクアリヅカムシと同じ *Parapyxidiceris* 属の未記載種が 3 種、これまでに日本から全く記録のなかった、*Pyxidiceris* 属の未記載種 2 種、合計 5 種が発見された。

謝辞

本稿の作成にあたり、貴重なアリヅカムシ標本の提供をいただいた、沖縄県の杉野廣一氏に心より感謝の意を表す。本研究の一部は科研費新学術領域「生物規範工学」の計画研究「バイオミメティクス・データベース構築」(課題番号: 24120002; 代表者: 野村周平) の助成を受けている。

引用文献

- Arai, S. 2003. A revision of the Japanese species of the genus *Morana* (Coleoptera, Staphylinidae, Pselaphinae). *Japanese Journal of Systematic Entomology*, 9: 187–222.
- Coulon, G., 1989. Révision générique des Bythinoplectini Schaufuss, 1890 (= Pyxidicerini Raffray, 1903, syn. nov.) (Coleoptera, Pselaphidae, Farininae). *Mémoires de la Société Royale Belge d'Entomologie*, 34: 1–282.
- Nomura, S., 1986. Description of two new myrmecophilous species of the family Pselaphidae (Coleoptera) from Japan. *Kontyû*, Tokyo, 54: 498–503.
- 野村周平, 1988. *Tribasodites picticornis* Nomura の新産地とその生息場所. *Pulex*, (76): 374.
- 野村周平, 2011. 沖縄島北部で中瀬式ライトトラップ (NLT) によって採集されたアリヅカムシ. さやばねニューシリーズ, (4): 23–27.
- 野村周平, 2015. 南西諸島で灯火に集まるアリヅカムシ概説 (付・2015 年 6 月に沖縄島で中瀬式ライトトラップによって採集されたアリヅカムシの記録). さやばねニューシリーズ, (20): 17–21.
- Nomura, S., W. Sakchoowong, & J. Chanpaisaeng, 2010. A list of the pselaphine species (Insecta, Coleoptera, Staphylinidae) collected from the Kaeng Krachan National Park, West Thailand. *Bulletin of the National Museum of Nature and Science*, (A), 36: 7–25.
- Sawada, K., 1964. Two new genera of pselaphid-beetles from Japan. *Entomological Review of Japan*, 17: 11–14.
- 柴田泰利・丸山宗利・保科英人・岸本年郎・直海俊一郎・野村周平・Volker Puthz・島田 孝・渡辺泰明・山本周平, 2013. 日本産ハネカクシ科総目録. 九州大学総合研究博物館研究報告, (11): 69–218.
- Yin, Z.-w., S. Nomura, D. S. Chandler, & L.-Z. Li, 2013. The genus *Saltisedes* (Coleoptera: Staphylinidae: Pselaphinae): redefinition, synonymic notes, and new species from the Oriental region. *Canadian Entomologists*, 145: 1–11 (doi:10.4039/tce.2012.90).

(2020 年 4 月 2 日受領, 2020 年 6 月 20 日受理)

【短報】千葉県におけるヒメコガシラミズムシ属 3 種の 2000 年以降の記録

ヒメコガシラミズムシ属は、水草や藻類の多く繁茂する水域に生息する小型水生甲虫である (佐藤・吉富, 2018)。千葉県からはマダラコガシラミズムシ *Haliphus sharpi* Wehncke, 1880 (以下、マダラと略記)、カミヤコガシラミズムシ *H. kamiyai* Nakane, 1963 (以下、カミヤと略記)、クビボソコガシラミズムシ *H. japonicus* Sharp, 1873 (以下、クビボソと略記)、キイロコガシラミズムシ *H. eximius* Clark, 1863 (以下、キイロと略記) の 4 種が記録されている (山崎, 1999)。

千葉県環境生活部自然保護課 (2019) では、マダラが重要保護生物 (環境省版レッドリスト基準の絶滅危惧 IB 類相当) に、カミヤ、クビボソ、キイロが最重要保護生物 (環境省版レッドリスト基準の絶滅危惧 IA 類相当) にそれぞれ選定されている。特に最重要保護生物の 3 種は 2000 年以降の具体的なデータを伴う記録が見られない。

筆者らは、2000 年以降にカミヤ、クビボソ、キ

イロを複数箇所では採集しているの、生息環境の概要とともに記録を公表する。なお、採集地名については、湿地の保全の観点から詳細な地名を伏せてアルファベットで記したが、標本に付記したラベルには産地が特定できる地名を明記している。

カミヤコガシラミズムシ *Haliphus kamiyai* Nakane, 1963

本種は環境省自然環境局野生生物課希少種保全推進室 (2020) において絶滅危惧 IB 類に選定されており、東北南部と関東の一部からのみ知られる稀な種である (中島ら, 2020)。

北野ら (2015) では千葉県の丘陵地にある湿地や休耕田の水生植物が多く水深の浅い場所に生息することが挙げられており、中島ら (2020) では千葉県産の個体が図示されているが、具体的な記録を伴う千葉県内の報告は正田 (1988) による富津市志組が知られるだけである。

今回記録する産地は以下に示す 6 箇所である。いずれも丘陵部に位置し、細流の流れ込みを有する水



図1-3. 千葉県産ヒメコガシラミズムシ属3種. 1. カミヤコガシラミズムシ; 2. クビボソコガシラミズムシ; 3. キイロコガシラミズムシ.

深の浅い湿地であり、北野ら (2015) の記述とよく一致した。今回調査した4箇所では本種のみが確認されたが、君津市Bではキイロ、マダラが、富津Aではキイロが同所で採集された。

本種は生息環境が整った場所では多産することが報告されており (岩田ら, 2019), 本報告のほとんどの生息地でも多産することを確認している。個体密度からみて、記録産地は本種にとって良好な環境であると考えられる。

なお、かつて本種の和名にクビボソが使われていたことがあり (中島ら, 2020), 既出の正田 (1988) では *H. kamiyai* Nakane, 1963 をクビボソと表記しているが、山崎 (1999) では正田 (1988) の *H. kamiyai* をカミヤとして引用していることから、本報告においても正田 (1988) の記録をカミヤとして扱った。

4 exs., 君津市 A, 29. IV. 2009, 佐野採集, 保管; 2 exs., 同地, 21. VII. 2011, 佐野採集, 保管; 10 exs., 君津市 B, 15. VII. 2019, 山崎採集, 保管; 1 ex., 富津市 A, 29. IV. 2009, 佐野採集, 保管; 5 exs., 同地, 11. VIII. 2010, 佐野採集, 保管; 1 ex., 同地, 3. V. 2019, 佐野採集, 保管; 1 ex., 富津市 B, 3. V. 2019, 佐野採集, 保管; 15 exs., 富津市 C, 9. IX. 2018, 山崎採集, 保管; 4 exs., 夷隅郡大多喜町 A, 4. XII. 2018, 山崎採集, 保管。

クビボソコガシラミズムシ *Haliphus japonicus* Sharp, 1873

本種は環境省自然環境局野生生物課希少種保全

推進室 (2020) において情報不足に選定されている。植物が豊富な環境に生息し、水質が良好なため池の浅い湿地や水田脇を流れる水路、河川のよどみなどで見られる (中島ら, 2020)。千葉県ではこれまで夷隅地区において記録されているのみであり (山口, 1957), 近隣県の栃木、神奈川などと比較して少ない (岩田ら, 2019; 佐野・北野, 2019)。

今回記録する産地は以下に示す2箇所、いずれも水生植物が豊富な湿地およびため池であり、確認された本属の種は本種のみであった。本県での河川における調査が充分ではないため、流水域の産地は今のところ発見できていない。

2 exs., 夷隅郡大多喜町 B, 6. X. 2019, 山崎採集, 保管; 10 exs., 館山市竜岡, 1. IX. 2019, 山崎採集, 保管。

キイロコガシラミズムシ *Haliphus eximius* Clark, 1863

本種は環境省自然環境局野生生物課希少種保全推進室 (2020) において絶滅危惧 II 類に選定されている。植物が豊富な止水域に生息し、水質の良い環境を好む (中島ら, 2020)。

本種は福岡県のように広い範囲で見られる地域もあるが (井上・中島, 2009), 関東地方での近年の記録は非常に少ない。千葉県でも同様の傾向がみられ、これまで富津市志組において記録されたものが唯一であった (正田, 1988)。

今回記録する産地は以下に示す8箇所、いずれも丘陵部の水生植物が豊富な水深の浅い湿地であった。記録産地ではマダラと同所的に得られることが多かった。今回複数産地が見つかったことから、潜在的には県内に広く分布している可能性がある。

1 ex., 君津市 C, 29. IV. 2009, 佐野採集, 保管; 2 exs., 君津市 B, 15. VII. 2019, 山崎採集, 保管; 1 ex., 富津市 A, 13. VII. 2013, 佐野採集, 保管; 1 ex., 富津市 D, 10. IX. 2010, 佐野採集, 保管; 2 exs., 夷隅郡大多喜町 C, 16. X. 2010, 佐野採集, 保管; 6 exs., 市原市石神, 21. VII. 2019, 山崎採集, 平澤保管; 6 exs., 市原市朝生原, 21. VIII. 2019, 山崎採集, 保管; 1 ex., 木更津市, 24. V. 2019, 山崎採集, 保管。

謝辞

執筆にあたり、以下の方々にご協力いただいた：岩田泰幸氏、北野忠氏、中村涼氏、高野直也氏、内田大貴氏、渡部晃平氏、渡辺黎也氏 (以上、アルファベット順)。ここに記し、深く御礼申し上げる。

引用文献

千葉県環境生活部自然保護課, 2019. 千葉県の保護上重要な野生動物 千葉県レッドリスト 動物編 2019年改訂版。

<http://www.bdcchiba.jp/endangered/2019/redlist2019.pdf>
(2020年8月7日参照).

疋田直之, 1988. 千葉県産ヒメコガシラミズムシ属3種の記録.
月刊むし, (205): 39–40.

井上大輔・中島 淳, 2009. 福岡県の水生昆虫図鑑. 195 pp. 福岡県立北九州高等学校魚部.

岩田朋文・佐野真吾・栗原 隆・岩田泰幸, 2019. 栃木県のクビボソコガシラミズムシとカミヤコガシラミズムシの再検討. インセクト, 70 (1): 5–11.

環境省自然環境局野生生物課希少種保全推進室, 2020. 環境省レッドリスト 2020 の公表について. <http://www.env.go.jp/press/107905.html> (2020年3月28日参照).

北野 忠・菊部治紀・丸山宗利, 2015. カミヤコガシラミズムシ. Pp. 111. 環境省自然環境局野生生物課希少種保全推進室 (編), レッドデータブック 2014. 5 昆虫類. 509 pp. ぎょうせい, 東京.

中島 淳・林 成多・石田和男・北野 忠・吉富博之, 2020. 日本の水生昆虫. 351 pp. 文一総合出版.

佐野真吾・北野 忠, 2019. 相模川で採集された水生甲虫の記録. コガシラミズムシ科, ミズスマシ科, ゲンゴロウ科, ガムシ科. 観音崎自然博物館研究報告 たたらはま, (23): 20–27.

佐藤正孝・吉富博之, 2018. コウチュウ目 (鞘翅) Coleoptera. Pp. 707–790. 川合楨次・谷田一三 (編), 日本産水生昆虫 科・属・種への検索 (第二版). 1520 pp. 東海大学出版部, 平塚.

山口穂波, 1957. 夷隅地区甲虫目録. 千葉県生物学会々報, 6 (6): 137–153.

山崎秀雄, 1999. 千葉県の鞘翅目. Pp. 634–718. 千葉県生物学会 (編), 千葉県動物誌. 1247 pp. 文一総合出版, 東京.

(山崎 駿 263–8522 千葉市稲毛区弥生町 1–33
千葉大学理学部化学科)

(佐野真吾 239–0813 横須賀市鴨居 4-1120
観音崎自然博物館)

(平澤 桂 969–3283 耶麻郡猪苗代町大字長田字
東中丸 3447–4
アクアマリンいなわしろカワセミ水族館)

【短報】福岡県におけるアリアケキヒロヒラタガムシの初記録

アリアケキヒロヒラタガムシ *Enochrus bicolor* (Fabricius, 1792) は, 海岸沿いの塩性湿地に生息する水生のガムシ科の一種である (中島ら, 2020). 国内ではこれまでに大阪府 (Kawakami & Hayashi, 2010), 岡山県 (Minoshima, 2014; 千田, 2020), 鳥取県 (緋田・渡部, 2020), 徳島県及び熊本県 (Matsui, 1994) から記録されている. 筆者は九州北部から初記録となる福岡県において本種を採集したので, ここに報告する.

8 exs., 福岡県築上町宇留津, 9. III. 2020 (図 1a, b). 筆者採集・保管.

採集地は砂浜上の大きな池で, 海岸線から約 20 m ほどに位置している. 池の周囲は主にヨシに覆われ

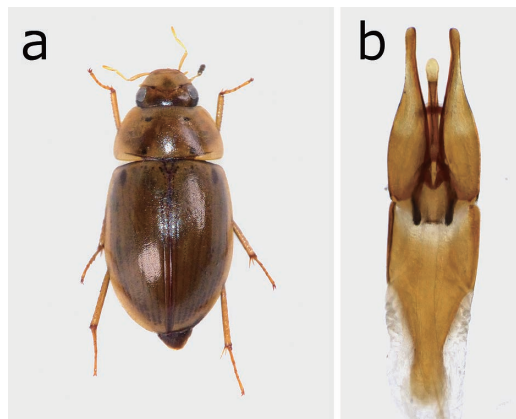


図 1. 福岡県産アリアケキヒロヒラタガムシ. a, 背面; b, オス交尾器.

ており, 水際の根元などから得られた. 同所的にゲンゴロウ科のマメゲンゴロウ *Agabus japonicus* Sharp, 1873 やカメムシ目ミズムシ科のクロチビミズムシ *Micronecta orientalis* Wróblewski, 1960 が多くみられた.

本種は国内では新種 *E. yukinoae* Matsui, 1994 として熊本県有明町 (現天草市有明町) から初めて記録されたが, 現在ではロシア極東部からヨーロッパ, 北アフリカに広く分布する *E. bicolor* のシノニムとされている (Hansen, 1999). 国内に産する同属種としてはキヒロヒラタガムシ *E. simulans* (Sharp, 1873) やチャヒロヒラタガムシ *E. testaceus* (Fabricius, 1801) に似るが, この両種の上翅には条溝列があるのに対して本種にはないことなどで区別が可能である (中島ら, 2020).

引用文献

- Hansen, M., 1999. World Catalogue of Insects Volume 2 Hydrophiloidea (Coleoptera). Apollo Books, Stenstrup. 416 pp.
緋田祐太・渡部晃平, 2020. 鳥取県米子市でアリアケキヒロヒラタガムシを採集. さやばねニューシリーズ, (38): 61.
Kawakami, Y. & M. Hayashi, 2010. A new distributional record of *Enochrus* (*Lumetus*) *bicolor* (Coleoptera, Hydrophilidae) from Osaka city, Honshu, Japan. Elytra, 38: 25–26.
Matsui, E., 1994. Three new species of the genus *Enochrus* from Japan and Taiwan (Coleoptera: Hydrophilidae). Transactions of the Shikoku Entomological Society, 20: 3–4.
Minoshima, Y.N., 2014. The identity of the Japanese species of the genus *Paracymus* Thomson (Coleoptera, Hydrophilidae). Elytra, Tokyo, new series, 4: 143–149.
中島 淳・林 成多・石田和男・北野 忠・吉富博之, 2020. ネイチャーガイド 日本の水生昆虫. 文一総合出版, 東京. 351 pp.
千田喜博, 2020. アリアケキヒロヒラタガムシ. p. 238. 岡山県野生動植物調査検討会 (編), 岡山県版レッドデータブック 2020. 動物編, 岡山県, 岡山. 812 pp.

(中島 淳 818–0135 福岡県太宰府市向佐野 39
福岡県保健環境研究所)